

# 1-1 四谷外濠エリア

江戸時代に谷地形を利用し築造された外濠のみどりと、明治時代に築造されたネオ・バロック様式の四谷見附橋に見られる西洋的意匠が、このエリアの景観を特徴づけています。

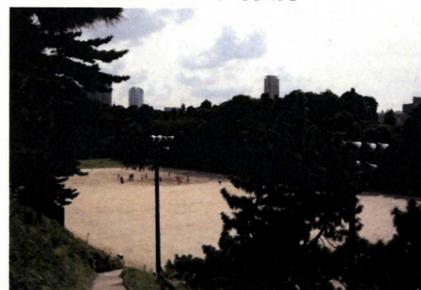


## 景観特性

このあたりの街区は外堀通りに比べて地盤が高くなっています。街区内の道路から外堀通り、外濠公園のみどりを眺めることができます。



## 1.豊富なみどりがあふれ出す外濠 (史跡江戸城外堀跡)



外堀は寛永13 (1636) 年に築造されました。明治時代の甲武鉄道開通や、戦後の埋立てなどもありましたが、現在でも大部分は江戸時代のままの姿が残り、広大な緑地帯となっています。外濠に沿って通る、外堀通りの街路樹とともに、四ツ谷駅周辺の景観に潤いを与えています。

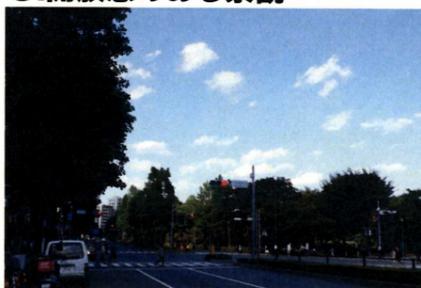
## 2.迎賓館への眺めと西洋的意匠



ちょうど千代田区との区界に架かる現在の四谷見附橋は1913年築造の旧四谷見附橋の意匠を継承しており、品格が感じられます。

四ツ谷駅前から迎賓館にかけての外堀通り沿いの並木と、左右対称の形態の若葉東公園により、迎賓館への眺めは風格あるものとなっています。また、迎賓館や四谷見附橋のネオ・バロック様式が特徴的な意匠です。

## 3.開放感のある景観



外濠という広大なオープンスペースと、広幅員の道路が広々とした眺めを創出しています。

## 景観形成の目標

# 外濠の豊かなみどりを中心とした風格のあるまちなみへ

外濠の豊かなみどりを守り育てながら、迎賓館や四谷見附橋に見られる歴史的なおもむきをエリア全体へと広げていく。

## 景観形成の方針

### 1.外濠のみどりがもつ歴史あるおもむきを保全する

#### 景観形成の考え方

都心において貴重な水面、緑地帯を有する外濠のおもむきを周辺も一体となって保全する。

#### 具体的な方策

- 外濠の樹木を保全する
- 水面は埋め立てない
- 公共空間の整備にあたっては、エリアのシンボルである四谷見附橋の意匠と調和を図る
- 外濠のおもむきと調和した、落ち着いた形態意匠および色彩とする

### 2.迎賓館の眺めを保全する

#### 景観形成の考え方

東京を代表する近代建築物である迎賓館 (赤坂離宮) を中心とする眺めを、将来に渡って継承する。

#### 具体的な方策

- 若葉東公園等の公共空間は、左右対称性や広がりのある眺めの確保などに配慮する
- 外壁は迎賓館のおもむきと調和した落ち着いた色彩や素材とする
- 屋上広告物は、設置しないようにするか、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する

### 3.外濠のみどりと調和した周辺の景観をつくる

#### 景観形成の考え方

外堀通りの周辺では、外濠と調和したみどり豊かなまちなみをつくる。

#### 具体的な方策

- 外濠への眺めに配慮した配置とする
- 大規模な計画では、まとまったみどりをつくる
- 中・小規模の計画では、道路沿いで積極的に緑化を行う

まちなみの大幅な変化が予想される場所では、みどりで包まれ潤いあふれる四谷地区にふさわしい拠点創出する。

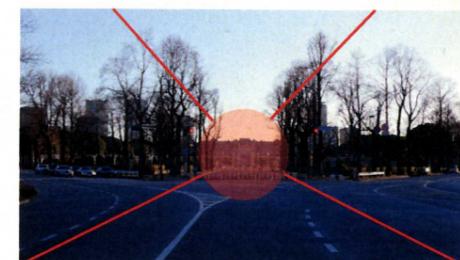
- 外濠の水とみどりと調和する形態意匠および色彩とする
- 外堀通りの連続性に配慮する
- 迎賓館や四谷見附橋の意匠との調和を図る



豊かな水面と樹木



四谷見附橋、迎賓館周辺の意匠



迎賓館への眺望景観を守る



外濠や外堀通りのみどりと連続したみどりをつくる

# 1-2 四谷北エリア

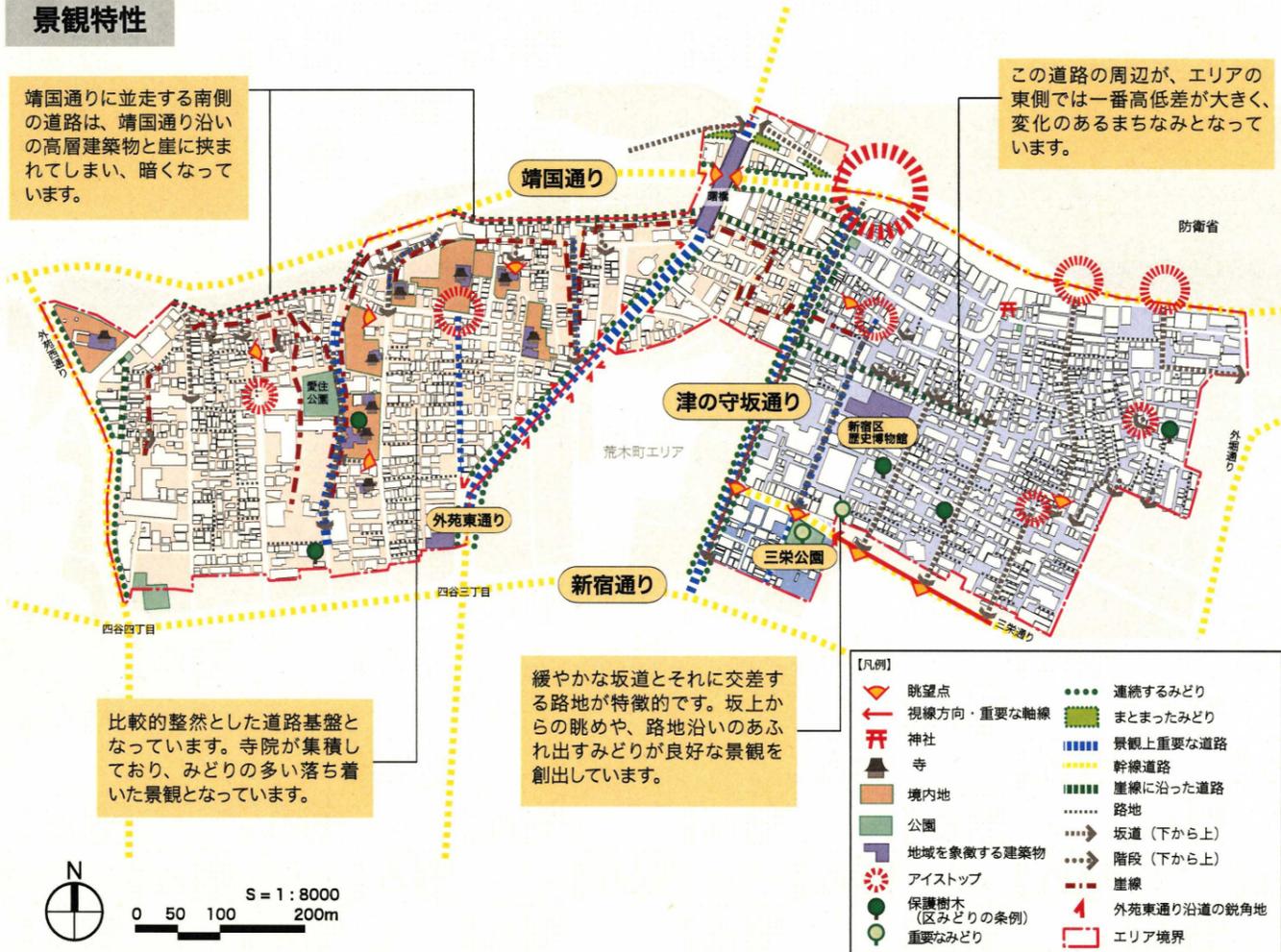
新宿通りと靖国通りの2本の幹線道路に挟まれた住宅地です。全体的に北へ向かって下がっていく斜面地となっています。南北方向の坂道や東西方向の道路沿いは、あふれるみどりや連なる擁壁により特徴的な景観となっています。特に、新宿歴史博物館周辺はみどりが多く、良好なまちなみとなっています。



## 景観特性

靖国通りに並走する南側の道路は、靖国通り沿いの高層建築物と崖に挟まれてしまい、暗くなっています。

この道路の周辺が、エリアの東側では一番高低差が大きく、変化のあるまちなみとなっています。



比較的整然とした道路基盤となっています。寺院が集積しており、みどりの多い落ち着いた景観となっています。

緩やかな坂道とそれに交差する路地が特徴的です。坂上からの眺めや、路地沿いのあふれ出すみどりが良好な景観を創出しています。

### 1. 坂上からの眺め



新宿通りから靖国通りへ向かって下がっていく斜面地に、愛住町周辺では谷地が入り組み、非常に複雑な地形となっています。そのため、エリア内には見晴らしの良い坂上が点在しています。

### 2. 東西方向の道路における左右の高低差



等高線に沿って通る東西方向の道路沿いでは、道路面より片方は低く、他方は高くなっています。そのため、左右非対称の特徴的な景観となっています。

### 3. 外苑東通り沿道の鋭角地



江戸時代から引き継がれている道路を斜めに横切ることにより、鋭角の角地が外苑東通り沿いに生じています。その角地は自然と人の視線を集め、個性的な景観を創出しています。

## 景観形成の目標

### 地形をいかしたみどりで包まれる閑静なまちなみへ

新宿通りから靖国通りへの斜面地に立地する住宅地において、地形と道路の関係をかしてみどりのまちなみを創出する。

## 景観形成の方針

### 1. 豊かなみどりを感じる景観をつくる

#### 景観形成の考え方

新宿区歴史博物館前の通りや坂道などを重点的に緑化し、みどり豊かな道路景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 新宿歴史博物館前の通り沿いでは積極的に緑化を行う
- 擁壁の上部の塀・さくは高さを抑える
- 坂道に面する場所では、坂上からの眺めに配慮し屋上緑化を推進する
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する (壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など)
- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける



建築物の前面に十分な空地をとり、緑化する

### 2. 道路と敷地との高低差をいかした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

道路と両側の敷地に高低差がある場所においては、圧迫感を軽減し潤いを創出する。

#### 具体的な方策

- 擁壁の上部の塀・さくは高さを抑える
- 擁壁の上部は、閉鎖的でないものとするか、緑化を行う



駐車スペースにも緑化を試みる



裏になってしまう道をつくらない工夫

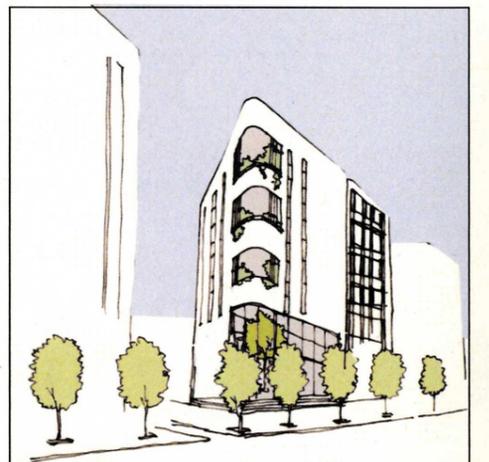
### 3. 外苑東通り沿いの個性的なまちなみをつくる

#### 景観形成の考え方

外苑東通り沿いの鋭角の角地をかして、個性的なまちなみをつくる。

#### 具体的な方策

- まちなみのシンボルとなることを考慮した、形態意匠とする
- コーナー部分以外は、落ち着いた形態意匠とする



幹線道路の景観に地区の個性を反映させる

# 1-3 荒木町エリア

江戸時代には、松平摂津守の屋敷が谷を囲んで設けられ、玉川上水を引き込み大きな池が造られていました。明治時代以降は、池の周辺には茶屋や料亭が建ち並び、花街として賑わいました。現在でもその面影は引き継がれ、特徴的な地形と風情ある飲食店の集積が、周囲の住宅地とは異なる盛り場の景観を創出しています。

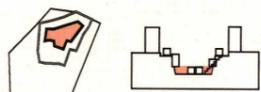


## 景観特性

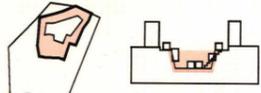
斜面地の路地は、石畳の階段となっており、風情があります。細かく折れ曲がっていることで、変化のある景観を楽しむことができます。



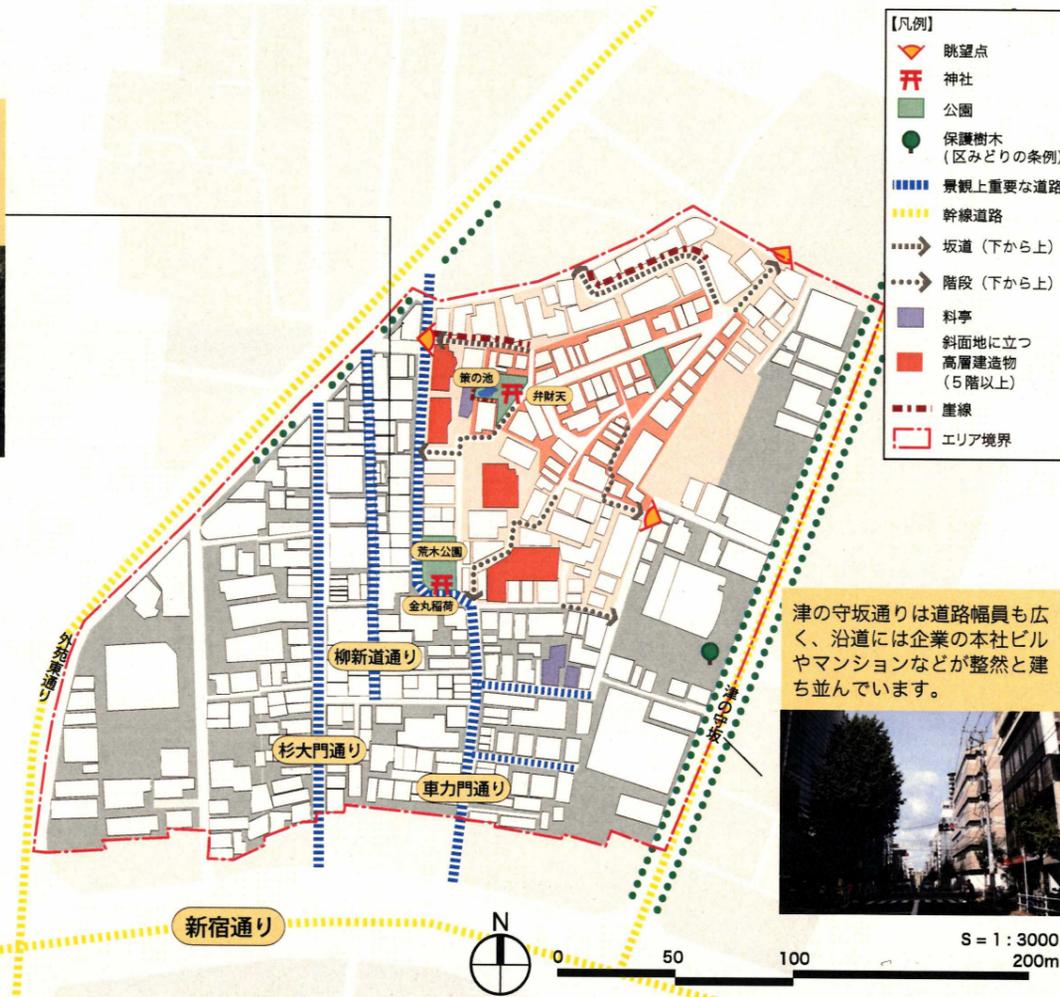
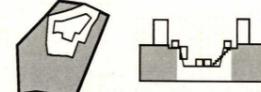
### 中心の底地



### 取り囲む斜面



### 周辺の市街地



津の守坂通りは道路幅員も広く、沿道には企業の本社ビルやマンションなどが整然と建ち並んでいます。



## 1. すり鉢状の窪地



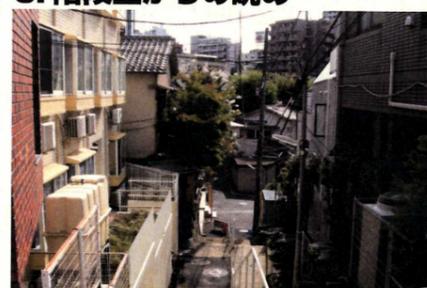
「弁財天」や「策の池」を窪地の底の中心として、その周囲を取り囲むように斜面が広がっています。そして更にその外周には飲食店が建ち並んでいます。このすり鉢状の窪地が特徴的な景観を創出しています。

## 2. 花街の風情漂う飲食店街



すり鉢状の窪地の最も外周に広がる飲食店街は、主に杉大門通り、柳新道通り、車力門通りの3つの併走する通りで構成されています。それぞれの通りの道路幅員や、店舗形態は異なります。点在する料亭が花街の風情を漂わせています。

## 3. 階段上からの眺め



飲食店街から窪地の中心である策の池や弁財天へ向かう斜面地には、急勾配の階段があります。その階段上からの眺めは、窪地の地形を強く感じる特徴的な景観となっています。

## 景観形成の目標

# 窪地の地形と花街の歴史をいかした風情あるまちなみへ

地形の特徴をいかしながら、建築物の形態意匠を工夫し、独等の風情を醸し出す景観をつくる。

## 景観形成の方針

### 1. 風情と賑わいのあるまちなみをつくる

#### 景観形成の考え方

並走する3つの飲食店街（杉大門通り・柳新道通り・車力門通り）において、それぞれの個性をいかした風情あるまちなみをつくる。

#### 具体的な方策

- 人通りが多く広幅員の杉大門通りでは、低層部に賑わいを連続させ、開放的な意匠とする
- 昔の花街の雰囲気を残す路地の柳新道通りでは、適度に閉じた意匠とし、照明も控えめとする
- 金丸稲荷・荒木公園周辺を中心とする車力門通りでは、和の風情を感じさせる意匠とする



和の風情を出す店の構え

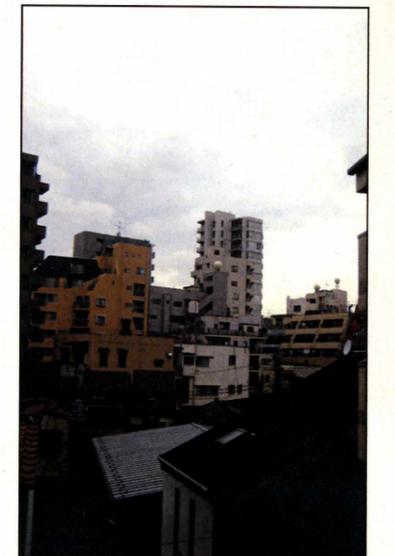
### 2. 窪地の眺めを保全する

#### 景観形成の考え方

窪地の地形を感じられる眺めを保全、創出する。

#### 具体的な方策

- 崖上の建築物は、崖上の道路から窪地への見通しを確保するような配慮をする
- 階段や坂道に面する場所では、和の風情を感じさせる形態意匠とし（黒塀や敷石の設置など）、また、植栽は和風植栽とする
- 崖下の建築物は積極的に屋上緑化をし、屋根の色彩はみどりと調和した落ち着いた色彩とする



みどりにあふれる窪地景観を守り育てる

### 3. 策の池周辺の歴史ある景観を再生させる

#### 景観形成の考え方

荒木町の中心である、策の池周辺の歴史ある賑わい景観を再生させる。

#### 具体的な方策

- 策の池周辺では、みどりと調和する落ち着いた色彩や素材とする
- 策の池周辺では、低層部は賑わいが感じられる開放的な意匠とする



策の池周辺の賑わい景観を再生させる



# 1-5 若葉・須賀町エリア



台地とそれに入り組む谷地、崖地からなる高低差の大きな地形が特徴となっています。谷地を通り緩やかに曲がる若葉通り沿いには、店舗や住宅が建ち並んでいます。東側の台地上は住宅地となっており、西側の台地上には寺社が建ち並んでいます。

## 景観特性

谷に下りてまた上る2つの坂道は、谷地形を強く感じさせる景観を生み出しています。



### 1. 緩やかに曲がる若葉通り



谷地の中央を通る若葉通りは、谷地に沿って緩やかに曲がっています。また、若葉通りから崖地へ向かう路地により、谷地特有の閉塞感は軽減されています。

### 2. 台地上の整ったまちなみ



台地上は江戸時代の道路基盤を受け継いだ整ったまちなみとなっていますが、若葉通りの東西で異なった景観となっています。東側は公園や学校、みどりが多い住宅からなる良好なまちなみとなっています。西側は門や瓦塀を有する寺社の落ち着いたまちなみ特徴となっています。

### 3. 台地と谷地からのそれぞれの眺め



谷地を取り囲むように台地上に寺社が立地しています。須賀神社などからの眺めは、このエリアの地形を感じる特徴的な景観となっています。また谷地からの眺めは、寺社の空地により閉塞感が軽減されたり、寺社自身がアイストップとなっている所もあります。

## 景観形成の目標

### 谷地と台地をいかした寺社の雰囲気と調和したまちなみへ

谷地と台地間の結び付きに配慮しつつ、それぞれの土地利用の特性を活かしてまちなみを整える。

## 景観形成の方針

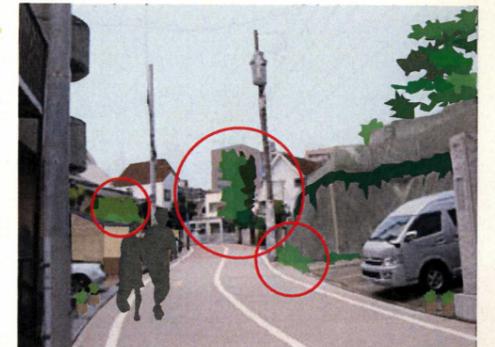
### 1. 明るく潤いのある若葉通りのまちなみをつくる

#### 景観形成の考え方

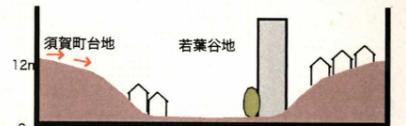
谷地を通り崖に挟まれ暗くなりがちな若葉通りでは、緩やかなカーブをいかし変化のある明るい景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 崖上では崖下からの眺めに配慮し、圧迫感を軽減するような形態意匠とする
- 視線が集中しやすい道路の折れ曲がり部分などでは、積極的に緑化を行う



屈折部の緑化



眺めに配慮した建物の高さ

### 2. 台地上からの眺めを保全する

#### 景観形成の考え方

寺社の境内や台地上からの眺めを保全する。

#### 具体的な方策

- 須賀神社や坂道からの眺めに配慮した配置や形態意匠とする
- 屋上広告物は設置しないようにするか、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する



落ち着いた雰囲気の寺町のまちなみ

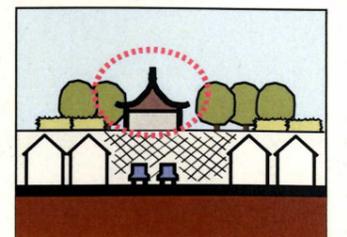
### 3. 寺社の雰囲気をいかしたまちなみをつくる

#### 景観形成の考え方

寺社の集まる須賀町を中心に、今もなお残る寺社地らしい景観を保全する。

#### 具体的な方策

- 外壁は寺社の雰囲気と調和した、色彩や素材とする
- 寺社の雰囲気と調和した外構や植栽とする
- 若葉通りから台地上の寺社への見通しにも配慮する

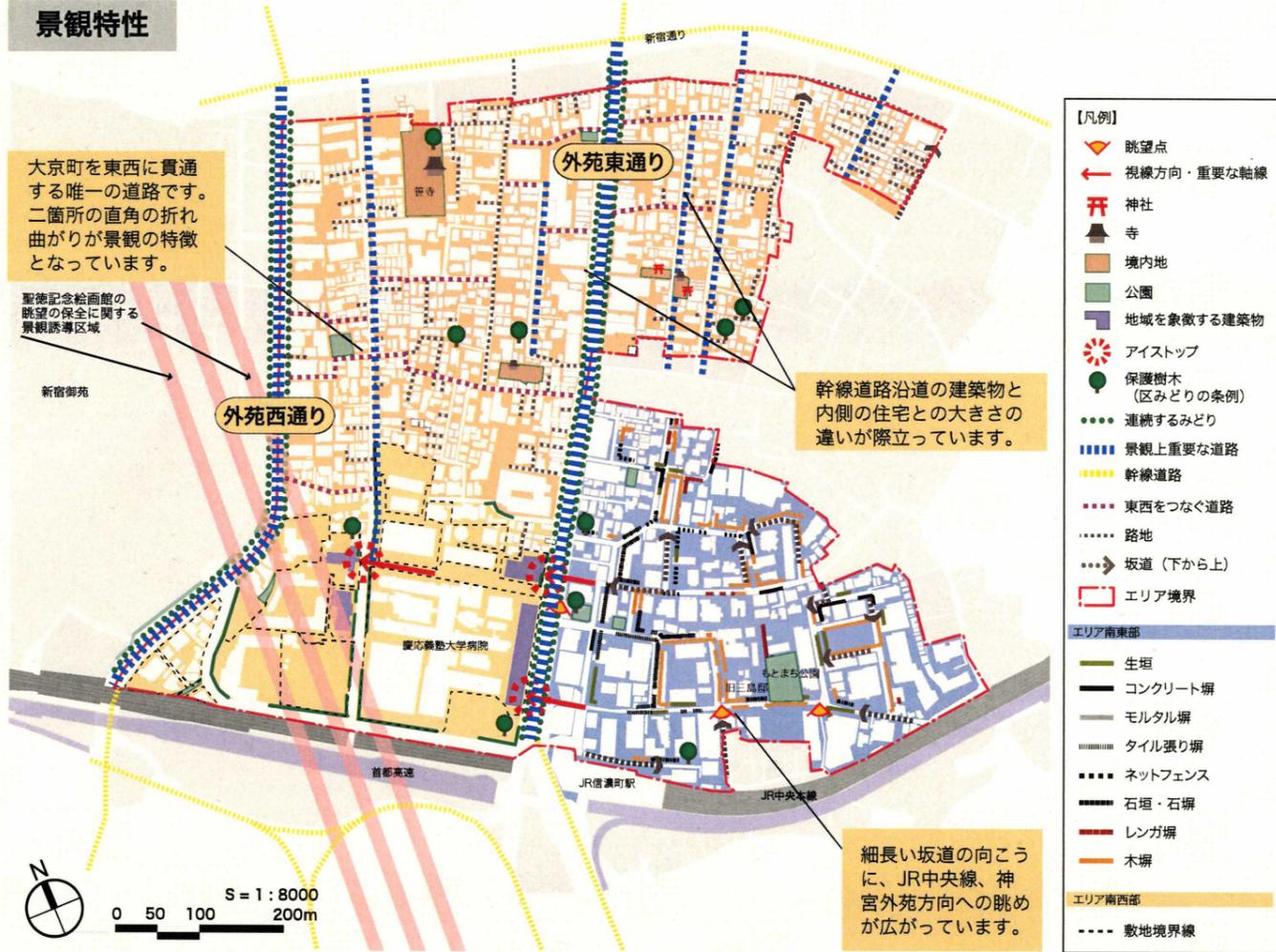


# 1-6 四谷南・信濃町エリア

新宿通りとJR線に挟まれた平坦な台地上に位置しており、江戸時代には主に武家地でした。エリアの北側は、現在でもその道路基盤を受け継ぎ、細長い直線道路を中心に細かい敷地割りが並んでいます。また、エリアの南側では、大規模な大名屋敷が立地していたこともあり、生垣で囲われた大規模な敷地割りが特徴となっています。



## 景観特性



### 1.大規模敷地と敷地の設え



大規模敷地が目立つエリア南東部では、多様な平野生垣が景観を特徴付けています。また、エリア南西部では、慶應義塾大学病院を始めとして、さらに大規模な敷地となっており、敷地を囲む豊富なみどりがまちなみの重要な要素となっています。

### 2.細い直線道路ごとのまとめ



新宿通りから南へ入ると遠い先まで見通せる直線道路が幹線道路と併走しています。その直線道路同士を結ぶ道路はほとんどありません。敷地奥へと伸びる路地は行き止まりとなっており、広がりや変化を欠いたやや単調な景観となっています。

### 3.対照的な二本の幹線道路



幅員の広い外苑東通りは、スッキリとした街路樹と商店の連なりによって、開放的で賑やかな景観となっています。また、外苑西通りはみどり豊かな街路樹と、沿道の大規模建築物によって、落ち着いた景観となっています。

## 景観形成の目標

### 風格ある屋敷町を中心としたみどり豊かなまちなみへ

平坦な台地上に広がる住宅地では、良好な住宅地のまちなみを形成し、南側の大規模な敷地では、まとまったみどりによる潤いを創出する。

## 景観形成の方針

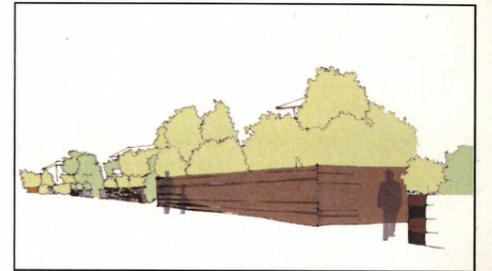
### 1.風格ある屋敷町のまちなみを保全する

#### 景観形成の考え方

塀や生垣を工夫し、屋敷町の風格を創出する。

#### 具体的な方策

- 既存の歴史的な煉瓦塀や樹木を保全する
- 単調になりがちなコンクリート塀等は避ける(生垣・木塀・煉瓦塀など)
- 擁壁の上部の塀・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する(壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図るなど)



おもむきのある塀と庭から溢れるみどり

### 2.直線道路を広がり潤いのある景観とする

#### 景観形成の考え方

細い直線道路を中心とするやや単調なまちなみに、路地の入口や敷地全面の緑地等で変化をつける。

#### 具体的な方策

- 道路沿いは空地を設け、積極的に緑化を行う
- 道路の入口や交差点に面する場所では、角地を意識した形態意匠とする
- 奥行きのある空地を道路と直角方向にとり、緑化を行う



みどりでまちなみに変化をつける

### 3.幹線道路沿道の賑わいと快適な歩行者空間をつくる

#### 景観形成の考え方

エリア内の広域幹線道路(外苑東通り、外苑西通り)沿道では、賑わいを創出し快適な歩行者空間をつくる。

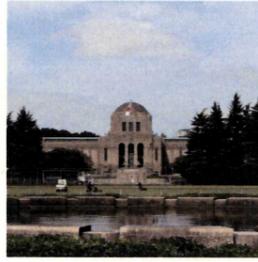
#### 具体的な方策

- 低層部の壁面の位置は後退させ、道沿いにゆとりをつくる
- 低層部の賑わいを感じられるよう、開放的な意匠とする
- 夜間景観に配慮し、シャッターは透過性の高いものとする
- 夜間景観に配慮した照明計画とする



歩道を広くとり、ゆとりある景観をつくる

# 1-7 神宮外苑・南元町エリア



明治神宮外苑は台地上に位置し、周囲を広幅員道路が通っています。そのため、聖徳記念絵画館を中心とする眺めは広がりがあり、東京を代表する風格のある景観となっています。一方、谷地に位置する南元町は、周囲の豊かなみどりに囲まれた落ち着いたまちなみとなっています。



## 1. 壮大な眺望景観



聖徳太子記念絵画館を焦点とする眺望景観は、壮大なものです。また、聖徳記念絵画館前の芝生広場では、みどりに囲まれた広大な見晴らしが得られます。

## 2. 外濠からつながるみどり



外濠と迎賓館からつながるみどりが、神宮外苑にも伸びています。みなみもと町公園から向かいの赤坂御所ともつながり、都心とは思えない重厚なみどりのストックとなっています。

## 3. 変化のある景観



南元町の住宅は、谷地を通る緩やかに曲がる道路沿いに立ち並んでいます。まちなみの向こうに、明治神宮外苑や赤坂御所のみどりが見え隠れする、奥行きのある景観となっています。

## 景観形成の目標

# 神宮外苑の広大な眺めと豊かなみどりに囲まれたまちなみへ

聖徳記念絵画館の眺望景観や広大な見晴らしを継承するとともに、豊かなみどりに囲まれた住宅地のまちなみを保全する。

## 景観形成の方針

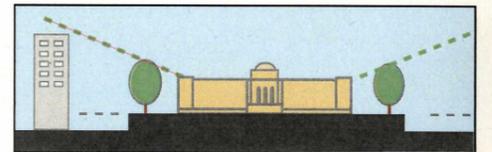
### 1. 聖徳記念絵画館の広大な眺めを保全する

#### 景観形成の考え方

聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを、将来に渡って継承する。

#### 具体的な方策

- 広場を取り囲む既存樹木を保全する
- 広場からの眺めに配慮した形態意匠とする
- 色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける
- 屋上広告物は、設置しないようにするか、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する



聖徳記念絵画館を中心とした広大な眺め

神宮外苑の豊かなみどりで包まれた広大な眺めを保全する



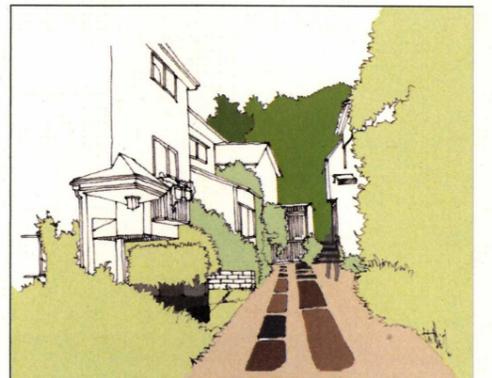
### 2. 周辺のまとまったみどりと身近なみどりを感じられる景観をつくる

#### 景観形成の考え方

住宅地から、周辺を包み込む神宮外苑や赤坂御所のみどりを眺められるよう配慮する。また、住宅地内でも身近なみどりを感じられるようにする。

#### 具体的な方策

- 住宅地内部から周囲のみどりを眺められるような配置とする
- 色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける
- 外壁の素材は、自然素材のものを使用する
- 視線が集中しやすい道路の折れ曲がり部分などでは、積極的に緑化を行う



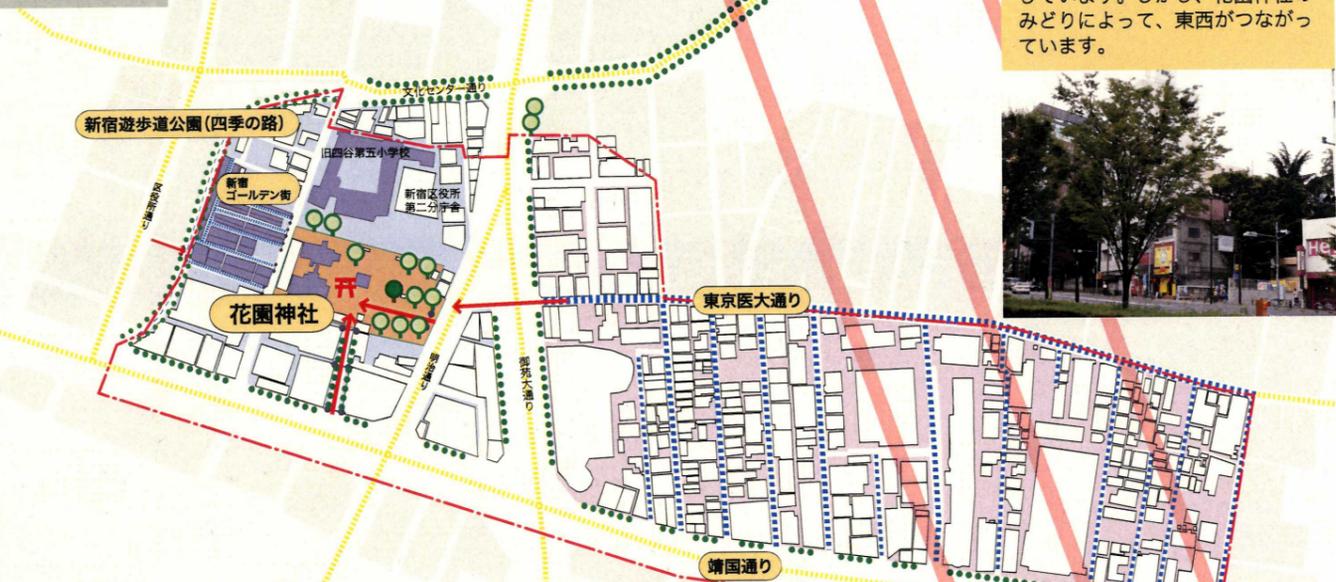
路地の奥に豊かなみどりが見える。この奥行きのある眺めを保全・創出する

# 1-8 花園神社周辺エリア

靖国通りの北側に広がる平坦な土地に位置しています。明治通りを挟んで西側には、緑豊かな「四季の路」や「花園神社」、また個性的な店舗の並ぶ「ゴールデン街」などがあります。東側は、南北に伸びる細長い道路に、小規模のマンションや業務ビル等が建ち並ぶまちなみとなっています。

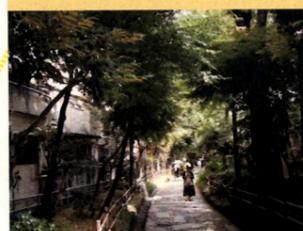


## 景観特性

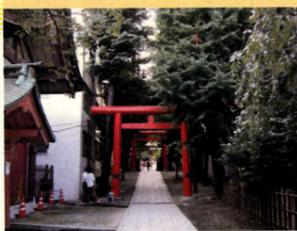


- 【凡例】
- ← 視線方向・重要な軸線
  - 卍 神社
  - 境内地
  - 地域を象徴する建築物
  - 保護樹木 (区みどりの条例)
  - 重要なみどり
  - 連続するみどり
  - 景観上重要な道路
  - 幹線道路
  - エリア境界

旧都電の線路敷を転用した四季の路では、緩やかなカーブと豊富なみどりが重要な景観資源です。



花園神社への参道がビルの谷間に延びています。鳥居は靖国通りのまちなみのアクセントとなっています。



広幅員街路がエリアを大きく二分しています。しかし、花園神社のみどりによって、東西につながっています。



### 1. みどりのまとめ



花園神社の境内や四季の路のまとまったみどりは、エリアの重要な景観資源となっています。特に花園神社のまとったみどりは、幹線道路越しでも目に入ります。

### 2. 小規模同規格店舗の集合



四季の路と花園神社との間にはゴールデン街、花園街があります。細い路地に長屋が並び、細やかな間口を个性的に装飾した店舗が連なる、独特の景観となっています。

### 3. 南北の細長い道路景観



靖国通りから北方向に伸びる直線道路沿いに建築物が建ち並んでいます。その直線道路同士を結ぶ道路はほとんどありません。敷地奥へと伸びる路地も少なく、広がりや変化を欠いた単調な景観となっています。

## 景観計画の目標

### みどりでつながる商業・業務・住宅のまちなみへ

エリアの景観の核となる花園神社を中心として、みどりでつながる沿道景観を創出し、商業、業務、住宅が調和したまちなみをつくる。

## 景観形成の方針

### 1. 花園神社を中心として落ち着いたまちなみをつくる

#### 景観形成の考え方

花園神社境内からの眺めを保全するとともに、周辺のまちなみをみどりある落ち着いたものとする。

#### 具体的な方策

- 神社周辺では、神社の雰囲気と調和し落ち着いた形態意匠および色彩とする
- 特に、境内から見える場合は、境内からの眺めに配慮したものとする
- 参道に面する場合は、神社への眺めを阻害しないようにする



境内から見える建築物

### 2. みどり豊かで賑わいのある四季の路の景観をつくる

#### 景観形成の考え方

みどりの豊かな四季の路沿いに、みどりと調和し心地よい賑わいが感じられるまちなみをつくる。

#### 具体的な方策

- 四季の路から見える場合は、みどりと調和する落ち着いた色彩や素材とする
- 四季の路沿いでは、四季の路に対して正面性をもたせる。
- 室外機等の設備機器は、四季の路から直接見えないようにする



四季の路に対して正面性をもたせる。開口部から漏れる光で夜も明るくなる。

明るくなる四季の路の景観

### 3. 直線道路を広がり潤いのある景観とする

#### 景観形成の考え方

南北方向の直線道路を中心とするやや単調なまちなみに、路地の入り口や敷地前面の緑化等で変化をつける。

#### 具体的な方策

- 道路沿いは空地を設け、積極的に緑化を行う
- 路地の入り口や交差点に面する場所では、角地を意識した形態意匠とする
- 奥行きのある空地を道路と直角方向にとり、緑化を行う



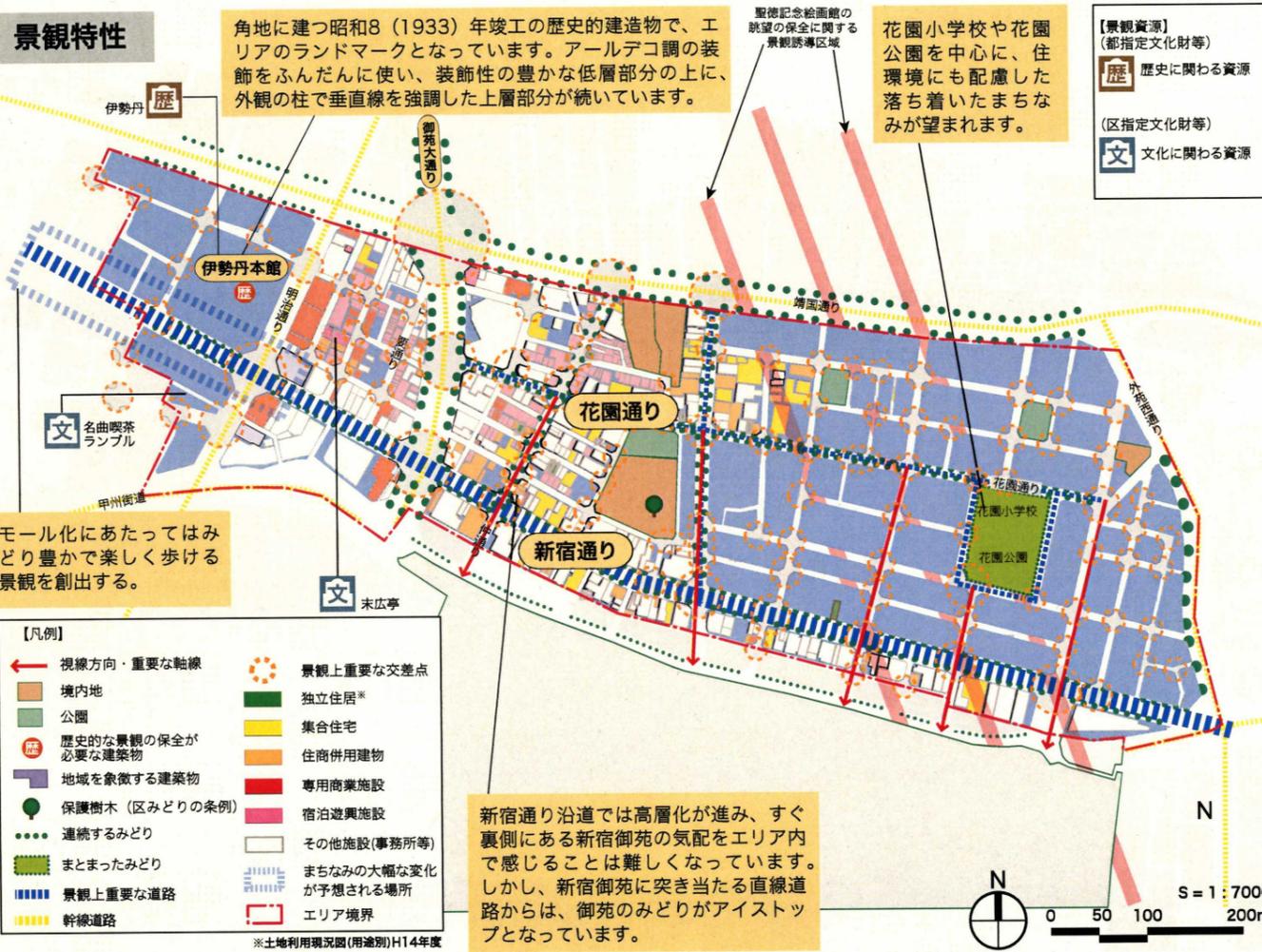
みどりで単調さを解消していく

# 1-9 内藤新宿エリア

江戸時代には、宿場町「内藤新宿」が立地していました。現在は新宿通りを中心に業務・商業・居住機能が混在しています。戦後に、戦災復興区画整理事業が実施されたため、整った道路基盤となっています。新宿駅に近い西側は商業施設が多く、賑わいあふれるまちなみに、また、四谷方面の東側は住宅が多く、落ち着いたまちなみとなっています。



## 景観特性



モール化にあたってはみどり豊かで楽しく歩ける景観を創出する。

新宿通り沿道では高層化が進み、すぐ裏側にある新宿御苑の気配をエリア内で感じることは難しくなっています。しかし、新宿御苑に突き当たる直線道路からは、御苑のみどりがアイストップとなっています。

### 1. 壁面線のそろった新宿通り



新宿通り沿いの建築物は、高さは31m程度のものでほとんど、壁面線が揃った整然としたまちなみとなっています。人通りも多く、新宿区の骨格となる通りとなっています。

### 2. すみ切り交差点



戦後の戦災復興区画整理事業で、交差点では大きくすみ切りをしました。建築物は、このすみ切りをいかしてコーナーに意匠的配慮をしたものが多く、特徴的な景観を創出しています。また、区画整理で生じた直線道路は見通しがよく、整ったまちなみとなっています。

### 3. 建物用途の偏りと混在



エリアは西側の繁華街と東側の住商混在地区に分かれ、同一の道路基盤にも関わらず、建築物の形態意匠が異なり、まちなみに変化を与えています。また、建築物の正面が集中する道路と、裏側が集中する道路でもまちなみに違いがあります。

## 景観形成の目標

### 風格のある新宿通りと整った道路基盤をいかした整然としたまちなみへ

新宿通り沿道の建築物の形態意匠の調和を図るとともに、区画整理された場所における、賑わいと住み心地の調和したまちなみを創出する。

## 景観形成の方針

### 1. 賑わいと風格のある新宿通りの沿道景観をつくる

#### 景観形成の考え方

新宿の賑わい交流の骨格である新宿通りと沿道建築物とが調和した、賑わいと風格のある新宿通り沿道の景観形成を図る。

#### 具体的な方策

- スカイラインの連続性に配慮する
- 壁面線の連続性に配慮する
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 軒線の連続性に配慮する
- 屋上広告物は、設置しないようにするか、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する



スカイラインや軒線などの水平方向の連続性に配慮する

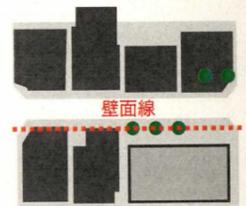
### 2. 整った道路基盤による整然としたまちなみをつくる

#### 景観形成の考え方

区画整理による整った道路基盤をいかし、整然としたまちなみをつくる。

#### 具体的な方策

- 壁面線の連続性に配慮する/後退する場合は、照明や植栽帯により既存の壁面線を継承する
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する



壁面線に沿って街路樹を植える



壁面や植樹帯、街灯の配置を整える

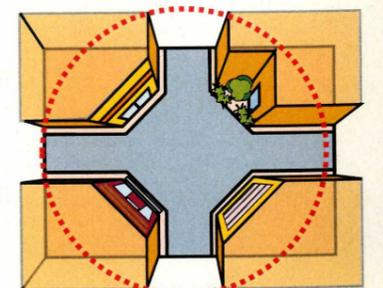
### 3. コーナー部分をいかした魅力的なまちかどをつくる

#### 景観形成の考え方

区画整理により生じた比較的大きなすみ切り部分をいかし、建築物の形態意匠を工夫し魅力的なまちかどを創出する。

#### 具体的な方策

- コーナー部に面した場所には、エントランス等開口部を設ける
- コーナー部に面した建築物の各面は、調和した意匠とする



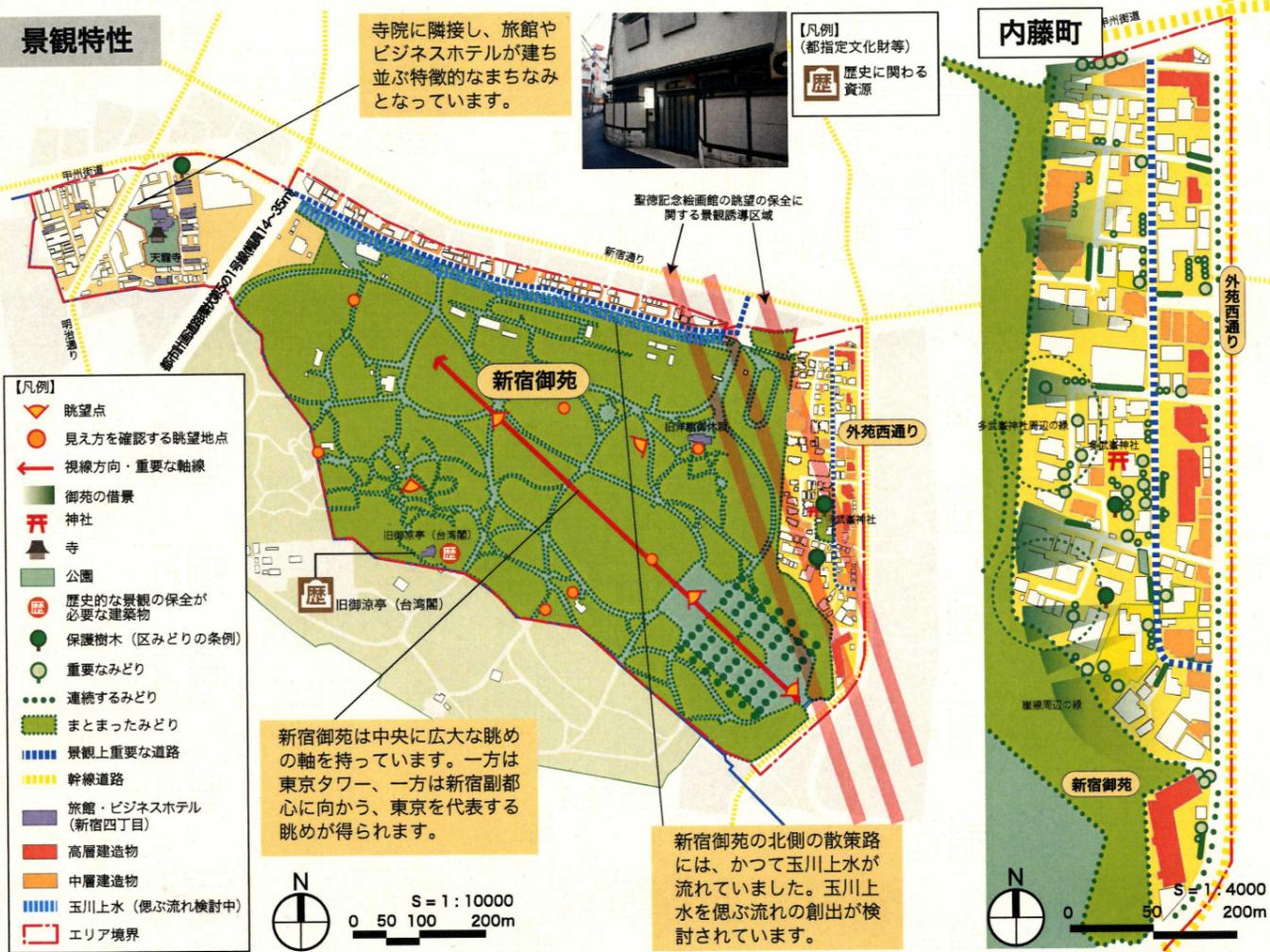
4つのコーナーで一つのまちかどをつくる

# 1-10 新宿御苑・内藤町エリア



江戸時代には高遠藩内藤家の下屋敷がありました。明治時代以降に、その大部分は宮内省の管理となり、新宿御苑として整備されました。新宿御苑内からのみどりに囲まれた眺めや、周囲から新宿御苑のみどりへの眺めなど、新宿御苑のみどりは貴重な景観資源となっています。また、屋敷地の一部は内藤町となり、みどりの多い良好な住宅地となっています。

## 景観特性



## 1. みどりで囲まれた景観



新宿御苑は広大な敷地の大部分が芝生で覆われ、周囲は高木で囲まれています。樹木と空に囲まれた、都心では貴重な見晴らし景観が得られます。

## 2. あふれ出すみどり



新宿御苑のみどりは隣接する道路にもあふれ出しています。そのため、北側の道路沿いからは、豊かなみどりを感じることができます。

## 3. みどりあふれる良好な住宅地



新宿御苑の東隣である内藤町では、新宿御苑の豊富なみどりを背景に、古くからの樹木、新しい生垣や植栽などがあり、深みのあるみどり豊かな景観となっています。特に多武峯神社周辺には、古くからの樹木が集中しています。

## 景観形成の目標

# 新宿御苑を中心としたみどりに包まれたまちなみへ

新宿御苑内からの眺望景観を保全するとともに、新宿御苑に隣接する道路や内藤町ではみどり豊かな景観の形成を図る。

## 景観形成の方針

### 1. 新宿御苑からの眺めを保全する

#### 景観形成の考え方

新宿御苑周辺の建築物や工作物は新宿御苑からの眺めに配慮したものとし、みどりで囲われた景観を保全する。

#### 具体的な方策

- 新宿御苑内の眺望点や各視点場からの眺めに配慮した形態意匠とする
- 新宿御苑から見える建築物や工作物の色彩は、みどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける
- 新宿御苑から見える範囲に、屋上広告物を設置しない

### 2. 新宿御苑と調和した周辺の景観をつくる

#### 景観形成の考え方

新宿御苑北側の通りを、新宿御苑と調和したまちなみとする。

#### 具体的な方策

- 素材や色彩はみどりと調和した落ち着いたものとする
- 新宿御苑からの連続性に配慮した緑化を行う

### 3. 内藤町のみどり豊かで良好な住環境を維持する

#### 景観形成の考え方

新宿御苑と隣接した、みどり豊かで潤いのあるまちなみを将来に渡って継承する。

#### 具体的な方策

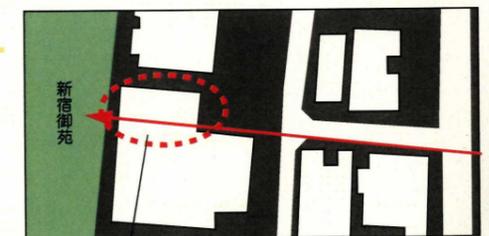
- 既存樹木を保全する
- 新宿御苑への眺めに配慮した配置とする
- 外苑西通り沿道では後背の住宅地側に空地をとり積極的に緑化する
- 色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとする



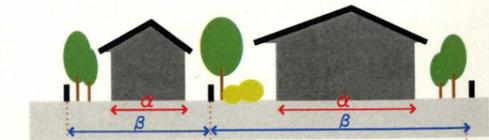
みどりで包まれた新宿御苑からの眺めを保全する



みどりとにぎわいが調和した通り



新宿御苑のみどりへの眺めに配慮する



$\alpha/\beta$ をなるべく小さく抑える

御苑に隣接した街区での建物配置の工夫例